

株式会社松南サービス

2019 年度 環境経営レポート

(対象期間 2019 年12月1日～ 2020 年11月30日)



洗車には雨水を積極的に使用

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	8
環境経営目標及びその実績	8
環境経営計画の取組結果とその評価	9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	13
これまでの環境活動の紹介	13



世界で最も厳しい平成28年
排出ガス規制に対応した
ディーゼルエンジンを搭載



大阪交通エコチャレンジ推進運動参加



□ごあいさつ

当社の事業活動が環境に与える影響を把握し、
その影響の適切な増減により、
汚染予防・環境保全に寄与できるよう努めます。

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社 松南サービスは、廃棄物の収集運搬・リサイクル・リユース等の環境事業にかかわる製品とサービスをお客さまに提供し続ける企業として、地球環境保全と事業活動の両立を基本理念とし、地球環境への負荷を最小限にするための下記に示す継続的な取り組みを通じて、社会および将来の世代に対する貢献に努めます。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 事業所や車両の省エネに努めます。
- 3 . 自社の廃棄物の削減や受託廃棄物の再資源化に努めます。
- 4 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5 . 洗浄剤や殺菌剤など適正管理に努めます。
- 6 . 本指針は全従業員に周知させ、全従業員が環境保全に対する認識の向上を図り、事業活動に反映できるよう啓発、教育します。
- 7 . 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2019年12月1日

代表取締役社長 **中野 博司**

□組織の概要

更新日：2019年12月1日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社松南サービス
代表取締役社長 中野 博司
- (2) 所在地
本社 大阪府大阪市生野区巽南2丁目11-19
大和高田支店 奈良県大和高田市大字野口15番地の1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 業務部長 池田 英清 TEL：06-4306-3232
担当者 企画総務部 中野 昌子 TEL：06-4306-3232
- (4) 事業内容
一般・産業廃棄物の収集運搬業、中古車販売業、遺品整理業
※一般廃棄物の収集運搬業の許可（大和高田市）は受けていますが、現在使用するに至っていません。
- (5) 事業の規模

法人設立 平成17年2月25日
資本金 3,000 万円
売上高 9,165 万円

	本社	大和高田支店	合計
従業員	12 名	0 名	12 名
延べ床面積	299 m ²	1496 m ²	1795 m ²

受託した廃棄物の処理量
(一般廃棄物)

収集運搬量	781 t
最終処分量	t

(産業廃棄物)

収集運搬量	360 t		
中間処理量	0 t	うち再資源化量	0 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	0 t	うち再資源化量	0 t

車種	台数	備考
3.5 t パッカー車	1 台	
3 t パッカー車	3 台	
3 t ダンプカー	1 台	
4 t コンテナ車	1 台	
2 t パッカー車	1 台	
フォークリフト	1 台	
乗用車	4 台	うちハイブリッド車1台
軽車両	1 台	
合計	13 台	

主要設備

名称	台数	備考
なし	基	
	基	

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
本社(特別管理産業廃棄物)	65.4 m ²	2.7 m	廃油・廃酸・廃アルカリ
本社(産業廃棄物)	87.9 m ²	28.3 m	廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維くず・動物性残渣・ゴムくず・金属くず

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社松南サービス
対象事業所：本社
大和高田支店
対象外：—
活動：一般・産業廃棄物の収集運搬業、中古車販売業、遺品整理業

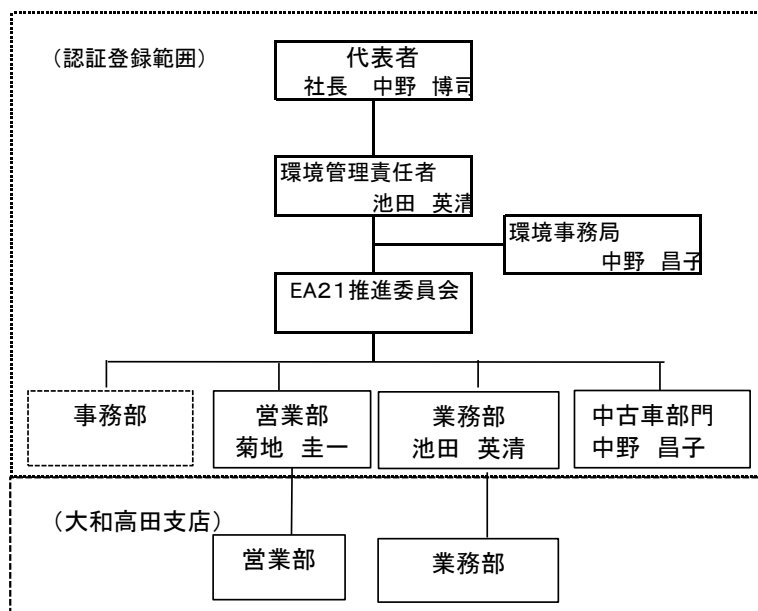
□事業の紹介

2017年に新社屋を竣工。その移転に伴い、受託した産廃を持ち込む中間処理業者を見直し、移動距離が短く効率的な運搬経路で車両の二酸化炭素排出量を抑えることを意識しています。2018年度より、建屋内には店子別企業が入居しています。今年度(2019年)は、車両数・社員数ともに増加し事業の拡大と、環境目標達成を両立させる難しさに直面しています。

一般廃棄物については旧来からの事業に加え、大阪市からの委託業務や遺品整理の分野にも参入しています。

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2020年6月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備考
大阪市	第030-093号	平成30年4月1日	令和4年3月31日	
大和高田市	第31-2号	平成31年4月1日	令和3年3月31日	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	優良認定	廃棄物の種類																
						汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	がれき類				
大阪府	第02700119631号	平成22年8月20日	令和6年7月25日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪市	第6610119631号	平成22年8月9日	令和6年7月3日	有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兵庫県	第02801119631号	平成22年9月27日	令和6年9月26日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
奈良県	第02900119631号	平成22年9月14日	令和6年9月13日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京都市	第02601119631号	平成27年12月28日	令和4年12月27日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	優良認定	廃棄物の種類			
						汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ
大阪市	第6660119631号	平成26年10月31日	令和3年10月30日	有	○	○	○	○	

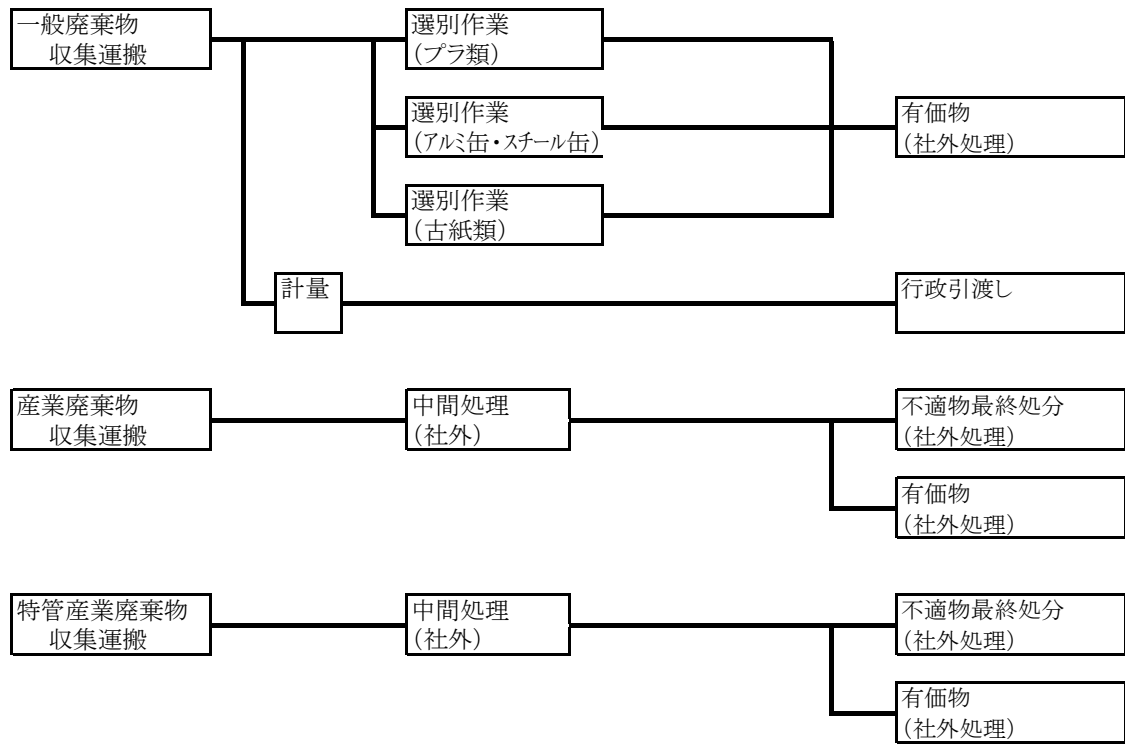
金属くず商

許可区域	許可番号	許可年月日
大阪市	第1973号	平成26年10月31日

古物商

許可区域	許可番号	許可年月日
大阪府 公安委員会	621091801916	平成23年8月23日

□ 廃棄物処理フロー



□ 処理料金

・処理料金については、引取り場所、品目等により異なりますので、当社までお問い合わせ下さい。

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	58,380	67,114
受託産廃収集運搬量	トン	1,459	360
受託産廃中間処理量	トン	0	0
受託産廃最終処分量	トン	0	0
廃棄物排出量 (自社)	kg	962	962
一般廃棄物排出量	kg	962	962
産業廃棄物排出量	kg	0	0
水使用量	m ³	217	266

※二酸化炭素排出係数 0.334 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※二酸化炭素総排出量には、都市ガスや液化天然ガス (LNG) も含む。

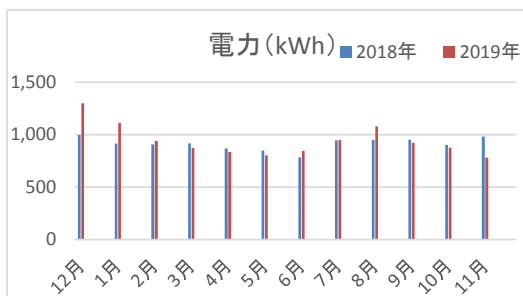
□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2019年		評価	2020年	2021年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,717	3,680	3,781		3,642	3,605
	基準年度比	2018年	99%	102%	×	98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	51,207	50,695	61,775	×	50,183	49,671
	基準年度比	2018年	99%	121%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	54,924	54,375	65,555	×	53,826	53,276
一般廃棄物の削減	kg	962	952	962	×	943	933
	基準年度比	2018年	99%	100%		98%	97%
水道水の削減	m ³	217	215	266	×	213	210
	基準年度比	2018年	99%	123%		98%	97%
溶剤使用量削減 (あるいは適正管理)	kg	8.03	7.95	6.93	○	7.87	7.79
	基準年度比	2018年	99%	86%		98%	97%
環境に配慮した収集運搬	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	(12月-2月は2社分の電力量)3月より店子企業の電力量を計測し、それを差し引いた、より実態に近い電力量がわかった。コロナ禍にあり、換気確保の上エアコンの使用をするという生活スタイルを余儀なくされた。12月-2月計測が正確にできていたら目標をクリア可能だったかもしれない。来年度は、トイレの照明を人感センサー付きに交換する検討をする。
・空調温度の適正化(冷房26℃ 暖房22℃)	△	
・不要照明の消灯	○	
・パソコン、コピー機等のOA機器の省電力設	○	

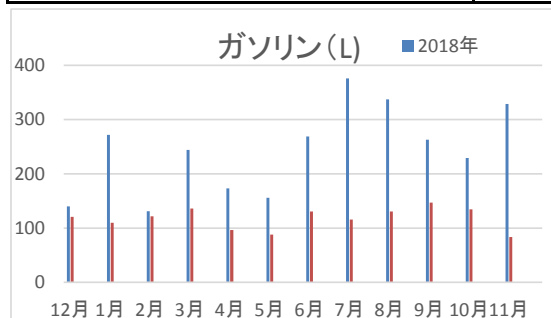


取組紹介欄

店子の電力使用量を計測
自社の使用量実態に近づける。
来年度はトイレの照明を人感センサー付きへ交換検討。

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2018年	998	915	906	918	868	848	785	945	950	950	901	982
2019年	1,299	1,113	940	875	835	801	847	949	1,078	923	876	783

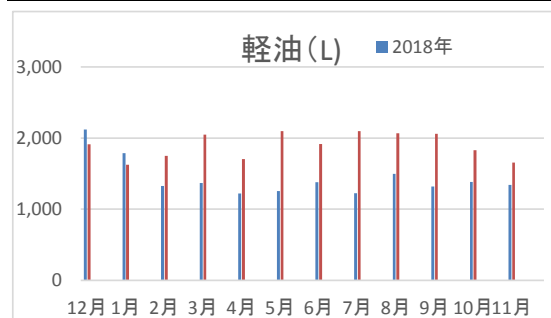
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	8月末にトラック(軽油+2台)購入し、トラック(LNG△1台)売却。1台純増となった。
・アイドリングストップ等のエコドライブ	○	
・作業時間や待機時間、走行距離の短縮を	○	
・デジタルタコグラフ・ドライブレコー	○	



取組紹介欄

ガソリン車1台減少。(クリーンディーゼル車に置き換え)
走行距離22,915キロ(2018)23,879キロ(2019)→4%増
ガソリン2,919ℓ(2018)1,414ℓ(2019)→52%減
※大幅な燃費アップ!

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2018年	140	272	131	244	173	156	269	376	337	263	229	329
2019年	121	110	122	136	96	88	130	116	131	147	135	83

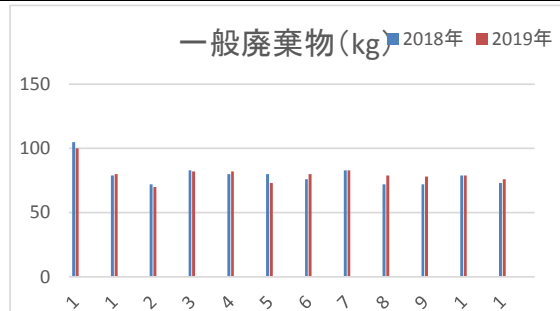


取組紹介欄

最新の燃費基準のディーゼル車の増車。
走行距離65,092キロ(2018)78,715キロ(2019)→20%増
軽油17,223ℓ(2018)22,672ℓ(2019)→31%増
※車両の増加が響いた。

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2018年	2,122	1,789	1,328	1,368	1,222	1,255	1,378	1,223	1,497	1,319	1,382	1,340
2019年	1,911	1,626	1,750	2,049	1,706	2,096	1,915	2,096	2,066	2,058	1,830	1,656

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	増員や新規営業、将来への成長に向けて、全般に事業活動が活発だったので、それに伴い社内の廃棄物の量の目標達成がむずかしかった。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・リサイクルトナーカートリッジの使用	○	
・帳票のペーパーレス化・電子契約・社内	○	

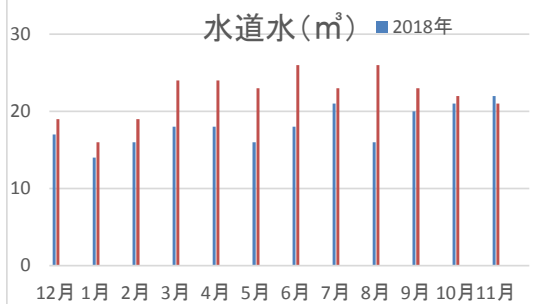


取組紹介欄

増員があったこと。コロナ禍で昼食を外食せずに、店で購入したものを社内で食べる人が大多数となったため、一般廃棄物の量が増加した。

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2018年	105	79	72	83	80	80	76	83	72	72	79	73
2019年	100	80	70	82	82	73	80	83	79	78	79	76

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	汚泥を扱う業務に伴って、洗濯機を使用する回数が去年より多かつ
・雨水の貯留タンクの設置による雨水の使	○	
・洗車時の節水の励行	△	
・自動水栓取り付け	○	
・手洗い時・洗い物における節水の励行	△	



取組紹介欄

洗車は雨水を使用することを再徹底。

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2018年	17	14	16	18	18	16	18	21	16	20	21	22
2019年	19	16	19	24	24	23	26	23	26	23	22	21

溶剤使用量削減(あるいは適正管理)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	洗車のために界面活性剤入りの洗剤を使用する。一般家庭でも使用される台所用洗剤を選び、下水処理の環境が整っている条件下で使用する。
・有害性物質(洗車時に界面活性剤入り洗	○	
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・代替物質の検討	○	

取組紹介欄

一般家庭でも使用される台所用洗剤を選び、下水処理の環境が整っている条件下で使用する。

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・有害性の少ない資材の購入	○	購入品の選定の都度、意識している。
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	
・燃費のよい自動車の採用	○	
・事務用品グリーン購入	○	

取組紹介欄

2020年8月購入のトラック2台は、平成27年度燃費基準+10%達成車です。より環境にやさしい車両を選んでいきます。

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・積み込み時に騒音を立てない	○	緊急事態の訓練は、コロナウイルス感染予防のため、実地訓練ではなく、手順書の読み合わせを行った。次年度2021年2月に実地訓練を実施予定である。
・積み忘れをしない	○	
・清潔な車両での収集	○	
・エコドライブの実施	○	

取組紹介欄


業務ミーティングでの定期的なフォローを行っています。次年度2021年2月に本格的な緊急事態を想定した訓練を予定。パッカー車の荷室が火災になった場合には消防署へ直接入庫できるよう、車内に地図を積載。連絡手順の確認なども行った。


□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物収集運搬業
自動車NOx・PM法	収集運搬車
大阪府条例(流入車規制)	収集運搬車
フロン排出抑制法	業務用空調機
自動車リサイクル法	車両
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・洗濯機・冷蔵庫・乾燥機
資源有効利用促進法	パソコン

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2020年8月21日	■実施場所 松南サービス 会議室
■参加者： 中野博司 池田英清 池尻和一 正岡和晃 瀬端誠 仲神晃子 菊地圭一 中野昌子	■実施内容 手順書の読み合わせ、内容の確認 ・通報の手順、消火の仕方の確認、避難のシミュレーション
■評価： コロナウィルスの感染をさけるため、換気した会議室での手順書の読み合わせを行った。消防署から水消火器を借りて実際に消火器を操作することや、緊急連絡の手順を確認した。次年度は、避難はしごの使用などを行う予定。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	 <p>会議室での手順書読み合わせ後ヤードで荷室のぼやを消火する確認。</p>

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 2020年8月21日	■実施場所 松南サービス 会議室
■参加者： 中野博司 池田英清 池尻和一 正岡和晃 瀬端誠 仲神晃子 菊地圭一 中野昌子	■実施内容： ・流出事故対応、通報訓練
■評価： 油流出事故の事例や写真を見ながら、実際に自社のヤードで流出事故が起きた場合にどのような行動をとるべきかを想定した。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

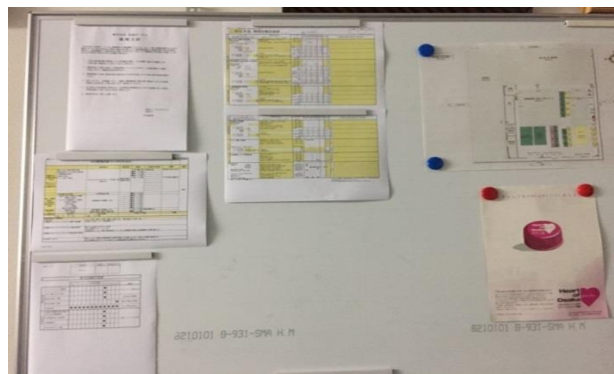
実施日：2020年12月30日

コロナ禍で、顧客の廃業などを理由に売上高が緩やかに下がる傾向にはあるが、そんななかでも、新規営業担当者の採用をして増員し、コロナ禍に対応したオンライン会議の導入、電子契約への切り替え、新規事業への参入、決済方法の見直し、手集金の廃止など、積年の課題に着手し、前進した一年だった。

エコアクションの具体的な数値目標については、コロナ禍において換気を十分にしたうえで空調使用が要求されたため、割り切って空調を使用した面は否めない。今後も環境に配慮した経営をしていくと同時に、社内に感染者や濃厚接触者を出さないための不断の努力をしていく。また、そのことについて社員間での一層の浸透を図っていく。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	実績を踏まえて見直す
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	

□これまでの環境活動の紹介



掲示板によるエコアクション21の推進

□編集後記

弊社は2014年12月よりエコアクションのガイドラインに基づき活動しています。2018年度より建屋内に店子別企業が入居したため、数値目標の基準年を2018年に再設定しました。2020年3月からは店子企業の電力量も計測し、自社の使用分を、より明確に把握することができるようになりました。

2017年度ガイドラインにのっとり審査を受ける最初の年でもあります。コロナウィルスの感染拡大により、その感染に日々気を遣う毎日となりました。エッセンシャルワーカーである業務部メンバーへの感染予防をこころがけ、社内消毒、事務所内の換気に社内一丸となって取り組みました。CO2排出量などの数値目標の達成ができなかったのが残念ではありました。